

# CENTENARY

2012. 9. 10  
第 70 号  
兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成

## 校歌

### 特集

今号は、本校加古川西高校の校歌を紹介してみようと思います。

さてみなさんは童謡で、『♪かあさんお肩をたたきましよう、タントントンタントントン♪』という歌を知っていますか。または『♪テンテンてんまりてんまり♪』を知っていますか。知りませんよねえ。確かに最近には耳にすることがなくなっていました。

見たことがあると思います。

あれは「東京音頭」という歌なのですが、先にあげた童謡「肩たたき」や「鞠と殿様」、大ヒット歌謡曲「青い山脈」と同じく、すべて西条八十の作詞になります。



作詞：西条八十

また、戦時下の映像で『♪海ゆかば♪』と濃厚な合唱が流れるのを聞いたことはないですか。あれは信時潔という作曲家が大伴家持の詩に曲をつけたものです。この信時潔は戦後は校歌作曲を主に活躍していて、長田高校・神戸高校・姫路東高校・姫路南高校など、近隣の多くの高校の校歌も作曲しています。



作曲：信時 潔

ところで、本校加古川西高校ですが、戦後の新制高等学校発足にともない、昭和24年11月28日の職員会議で校歌が審議されました。そして、国語や社会科学の先生方が相談し、この際、当時の大御所的存在であった、前述の西条八十・信時潔の2名に作詞作曲を依頼しようということになりました。

兵庫県立  
加古川西高等学校  
「校歌」

- 一、白雲かける印南野にあつまる若人希望にあふれて
- 仰ぐ青空世紀の朝の鐘は鳴る鳴る心は躍る加古川西の高校の力はりきる若人われら
- 二、流れて止まぬ加古川に学べる努力は我等が誇りよ
- 磨きし知性きたえし軀雨も嵐も乗り越え進む加古川西の高校の力はりきる若人われら
- 三、思いぞ深き高御位山春秋眺めつむすびし友情
- 力合わせていざこの腕に文化栄光ある日本を築かん加古川西の高校の力はりきる若人われら

**ちょっと一言** 県立加古川西高校は実は校歌を3つ持っています。

「加古の流れは水清く・・・」で始まる加古郡立高等女学校の校歌と

「ちはやぶる神の御代より・・・」で始まる県立加古川高等女学校の校歌と、

県立加古川西高等学校の校歌です。3つの校歌を持っているということを誇りに思い、本年10月20日(土)に行われる創立100周年記念式典では本校の生徒が心を込めて歌います。

「何事にも心を込めて」が本校のテーマです。期待してください。